

# つながる未来TALK

シンポジウム 2025

日時：2025年10月26日(日) 13:00-16:00(12:40開場)

場所：ビーコンプラザ 中会議室

住所：大分県別府市山の手町12-1

司会：堀 さおり

## SYMPOSIUM PROGRAM

13:00-13:05 開会 NPO法人マックネットシステム 理事長 武石 好春  
座長：井上 祥明 (別府医療センター 医療福祉相談室長)

13:05-14:05 基調講演



演題：「外国人対応で大切なことー  
健康の社会的決定要因と『やさしい日本語』」

順天堂大学大学院医学研究科  
医学教育学教授

武田 裕子 氏

14:05-14:50 シンポジウム

### 登壇者

在住外国人の生活支援と今後の課題

別府医療センター  
産婦人科部長

穴見愛 氏

宇佐市外国人  
総合相談センター長

高坂亮佳 氏

別府市立  
春木川小学校校長

塩地美千代 氏

NPO法人  
マックネット  
システム

甲斐しのぶ 氏

14:50-15:00 休憩

15:00-15:55 ディスカッションと質疑応答

15:55-16:00 閉会 武石 好春

参加無料

申込不要

主催



NPO法人マックネットシステム



独立行政法人福祉医療機構  
社会福祉振興助成事業

## 登壇者 プロフィール



順天堂大学大学院  
医学研究科医学教育学・教授

武田 裕子

筑波大学卒業。専門は内科・プライマリケア，医学教育，地域医療，国際協力，健康格差の社会的決定要因（SDH）、病気を「患者の自己責任」としない医師を育てる教育に取り組む。路上生活者への定期的支援を行い、在住外国人の健康格差縮小に向け「やさしい日本語」の普及にも尽力。

独立行政法人国立病院機構  
別府医療センター  
産婦人科部長

穴見 愛

日々、多くの在住外国人患者を診察。特に近年は出産可能な医療機関の減少を背景に，生活習慣や文化の違いに配慮しながら妊娠期から産後まで患者に寄り添ったケアを続けている。

宇佐市外国人総合相談  
センター長

高坂 亮佳

2021年6月のセンター開設以来，技能実習生をはじめ多くの在住外国人の生活に寄り添う支援を継続。「日本に来てよかった」・「日本に来てもらってよかった」と双方が思える地域を目指して活動。

大分県別府市立  
春木川小学校校長

塩地 美千代

昨年度より外国人児童を新たに受け入れている。まだ日本の生活に慣れていない児童に寄り添い，外部支援者との連携を図りながら、学校全体で子どもたちの多様性に対応している。

NPO法人  
マックネットシステム  
外国人支援部 クレシタ

甲斐 しのぶ

別府市内の在住外国人がより安心して生活できる街づくりを目指し約5年前からボランティア活動を開始。今年度はWAM助成を受け、他機関との更なる連携を強化している。

独立行政法人国立病院機構  
別府医療センター  
医療福祉相談室長

井上 祥明

別府医療センターにて長年に渡り医療ソーシャルワーカーとして従事。急性期病院での外国人支援を多数経験している。近年は周産期医療における外国人支援が主となっている。

（敬称略）



独立行政法人福祉医療機構  
社会福祉振興助成事業